

てあそびずとうそうぐ  
手遊図刀装具を  
かんさつ  
観察してみよう



さくひん  
作品のなまえ

てあそびずとうそうぐ  
手遊図刀装具

さくしゃ  
作者

いわまさよし  
岩間政廬

つく、じだい  
作られた時代

えど じだい  
江戸時代

てんぼう  
天保5年(1834)

とうそうぐ  
刀装具とは……

かたなほんたい も はこ つか  
刀本体を持ち運ぶときに使うケース（「拵」といいます）に取り付ける部品（①～③など）のこと。  
かたな あんぜん はこ こてい ぶひん て き ふせ ぶひん  
刀を安全に運ぶために固定する部品や、手が切れるのを防ぐ部品など、たくさんあります。  
とうそうぐ  
刀装具にはいろいろなデザインがありますが、ここではおもちゃのデザインを紹介（しょうかい）します。

こんなのもいるよ



おな やくわり ぶひん  
①と同じ役割の部品！

①



②



③



Q1

①～③は何の形だろう？考えてみよう！

①

②

③

Q2

①～③はどこに付く部品だろう？点と点をむすんでみよう！

※分かりづらいときは近くのパネルを見てみてね

